

社会資本総合整備計画（防災・安全整備）中間評価書

計画の名称	新世紀岡崎 衛る水のみち構築計画						重点配分対象の該当			
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)			交付対象	愛知県 岡崎市					
計画の目標	下水道整備を行い、命と暮らしを守る総合的な老朽化対策及び事前防災・減災を促進する。									
計画の成果目標（定量的指標）	①管渠の長寿命化対策実施率を24% (H27) から100% (H29)へ増加させる。 ②ポンプ場の長寿命化対策実施率を13% (H27) から71% (H31)へ増加させる。 ※H29に雨水施設のみ重点計画へ切出し ③管渠の耐震対策実施率を47% (H27) から50% (H30)へ増加させる。 ※H29のみ重点計画へ切出し ④ポンプ場の耐震対策実施率を50% (H27) から62% (H29)へ増加させる。（その他関連する事業を含む） ※H28、H29に重点計画へ切出し ⑤災害対応トイレ整備率を53% (H27) から57% (H28)へ増加させる。 ※H28に重点計画へ切出し ⑥都市浸水対策達成率（1/5規模の整備率）を81.4% (H27)から81.5% (H31)へ増加させる。 ⑦雨水貯留浸透施設設置支援数を325基 (H27)から415基 (H29)へ増加させる。 ※H29に重点計画へ切出し ⑧ストックマネジメント計画策定の進捗率を0% (H29)から100% (H31)へ増加させる。									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)				
①管渠の長寿命化対策実施率 長寿命化対策を実施した延長 (km) / 長寿命化計画に位置付けを行った延長 (km)				24 %	100 %	100 %				
②ポンプ場の長寿命化対策実施率 長寿命化対策を実施した資産数/長寿命化計画に位置付けを行った資産数				13 %	68 %	71 %				
③管渠の耐震対策実施率(その他関連した事業を含む) 下水道施設の耐震対策指針に準ずる耐震性能を確認・確保した延長(km)/重要な管路に位置づけられた延長(km)				47 %	48 %	50 %				
④ポンプ場の耐震対策実施率(その他関連する事業を含む) 下水道施設の耐震対策指針に準ずる耐震性能を確保した施設(箇所)/全施設数(箇所)				50 %	62 %	62 %				
⑤災害対応トイレ整備率 設置済み避難所数(箇所)/下水道認可区域内の広域及び一時避難所数(箇所)				53 %	57 %	57 %				
⑥都市浸水対策達成率(1/5規模の整備率) 概ね5年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全な下水道整備が完了している区域の面積の割合 = (1/5確率降雨相当の雨水整備完了面積(ha)) / (1/5確率降雨相当の雨水整備を実施すべき区域の面積(ha))				81.4 %	81.5 %	81.5 %				
⑦雨水貯留浸透施設設置支援数				325 基	415 基	415 基				
⑧ストックマネジメント計画策定の進捗率				- %	50 %	100 %				
全体事業費	合計 (A+B+C)	8,281 百万円	A	8,273 百万円	B	0 百万円	C	8 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.10%

中間評価

○中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制	中間評価の実施時期	平成30年2月
有識者による評価を実施	公表の方法	岡崎市ホームページで公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H27	H28	H29	H30	H31				
A07-001	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠(合流)	改築	矢作川処理区(老朽施設)	老朽管改築 L=21.0km	岡崎市						1,300	-	策定済	長寿命化
A07-002	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ場	改築	雨水ポンプ場・汚水中継ポンプ場	ポンプ場改築 177資産	岡崎市						1,194	-	策定済	長寿命化
A07-003	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠(合流)	改築	矢作川処理区(地震対策)	管渠耐震対策	岡崎市						70	-	策定済	総合地震
A07-004	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠(合流)	改築	矢作川処理区(地震対策)	管渠耐震対策	岡崎市						180	-	策定済	総合地震
A07-005	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ場	改築	雨水ポンプ場・汚水中継ポンプ場	ポンプ場耐震化・改築	岡崎市						370	-	策定済	総合地震
A07-006	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠(汚水)	新設	災害対応トイレ(マンホールトイレ)	災害対応トイレ 2箇所	岡崎市						8	-	策定済	総合地震
A07-007	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠(雨水)	新設	東鹿乗川排水区	雨水管□2000×□1000mm~□2200×1300mm L=220m	岡崎市						130	-	-	
A07-008	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠(雨水)	新設	乙川排水区	雨水管φ400~□2100mm L=2000m	岡崎市						750	-	-	
A07-009	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠(雨水)	新設	早川排水区	雨水管φ1650~3250mm L=1950m	岡崎市						100	1.13	策定済	浸水被害軽減 総合事業
A07-010	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠(雨水)	新設	占部川排水区	雨水管φ1200~□2200mm L=120m	岡崎市						140	-	-	
A07-011	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠(雨水)	新設	占部川排水区	雨水管φ2600~□2400mm L=820m	岡崎市						760	1.45	策定済	浸水被害軽減 総合事業
A07-012	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠(雨水)	新設	砂川排水区	雨水管□1600~□2200mm L=330m	岡崎市						230	-	-	
A07-013	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠(雨水)	新設	六斗目川排水区	雨水管φ1100mm L=250m	岡崎市						70	-	-	
A07-014	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠(雨水)	新設	竜泉寺川排水区	雨水管□1400mm~□1500mm L=350m	岡崎市						90	-	-	
A07-015	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠(雨水)	新設	広田川排水区	雨水管□1800mm L=700m	岡崎市						6	-	-	
A07-016	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ場	新設	福岡雨水ポンプ場	処理能力4.6m ³ /s	岡崎市						2,250	-	-	
A07-017	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ場	新設	六名雨水ポンプ場	処理能力8.0m ³ /s	岡崎市						100	1.45	策定済	浸水被害軽減 総合事業
A07-018	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ場	新設	八帖雨水ポンプ場	処理能力25.0m ³ /s	岡崎市						220	1.13	策定済	浸水被害軽減 総合事業
A07-019	下水道	一般	岡崎市	間接	民間	-	-	雨水貯留施設助成	雨水貯留(30基/年間)	岡崎市						5	-	-	新世代
A07-020	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	-	改築	ストックマネジメント計画策定	計画策定	岡崎市						300	-	-	ストック マネジメント
合計												8,273							

B 関連社資本整備事業(該当なし)

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
										H27	H28	H29	H30	H31				
合計												0						

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
										H27	H28	H29	H30	H31				
C07-001	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	新設	災害対応トイレ(マンホールトイレ)	トイレ備品購入	岡崎市						6	-	-	
C07-002	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	新設	広報活動	パンフレット作成	岡崎市						1	-	-	
C07-003	下水道	一般	岡崎市	間接	民間	-	止水板設置	止水板設置(30箇所)	岡崎市						1	-	策定済	浸水被害軽減 総合事業
合計												8						

D 社資本整備円滑化地籍整備事業(該当なし)

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
										H27	H28	H29	H30	H31				
合計												0						

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
C07-001	1.0ha未満の避難所においても災害トイレを設置することにより、全市域において減災対策を行うことができ、災害時の住民の安全と安心をより確保できる。 また、トイレ備品(帆式テント)を購入することにより、災害避難場所において安心して利用できる施設の確保を図る。															
C07-002	雨水ポンプ場の完成に伴いパンフレット等を作成し配布することにより、浸水実績のある市民の安心が確保できる。															
C07-003	浸水被害軽減総合事業に位置付けたエリアにおいて止水板を設置することにより、該当エリアの住民の浸水に対する安全をより確保できる。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道施設の計画的な改築及び耐震化を推進し、下水道としての機能確保と、道路陥没や地震時等による二次災害を予防・保全することに寄与した。 ・雨水整備事業において面整備を進めた結果、浸水安全度が向上した。 			
--------------------------------	--	--	--	--

II 定量的指標の達成状況	指標①（管渠の長寿命化対策実施率）	中間目標値	100 %	目標値と実績値に差が出た要因	ガイドラインの改定（H29）により、予定していた改築更新事業の再検討を行ったため。
		中間実績値	63 %		
	指標②（ポンプ場の長寿命化対策実施率）	中間目標値	68 %	目標値と実績値に差が出た要因	建替を予定している施設の事業方針が固まり、この施設で予定していた改築更新事業の再検討を行ったため。
		中間実績値	66 %		
	指標③（管渠の耐震対策実施率）	中間目標値	48 %	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り、事業を実施することができた。
		中間実績値	48 %		
	指標④（ポンプ場の耐震対策実施率（その他関連する事業を含む））	中間目標値	62 %	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り、事業を実施することができた。
		中間実績値	62 %		
	指標⑤（災害対応トイレ整備率）	中間目標値	57 %	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り、事業を実施することができた。
		中間実績値	57 %		
	指標⑥（都市浸水対策達成率（1/5規模の整備率））	中間目標値	81.5 %	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り、事業を実施することができた。
		中間実績値	81.5 %		
	指標⑦（雨水貯留浸透施設設置支援数）	中間目標値	415 基	目標値と実績値に差が出た要因	計画以上、事業を実施することができた。
		中間実績値	421 基		
指標⑧（ストックマネジメント計画策定の進捗率）	中間目標値	50 %	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り、事業を実施することができた。	
	中間実績値	50 %			

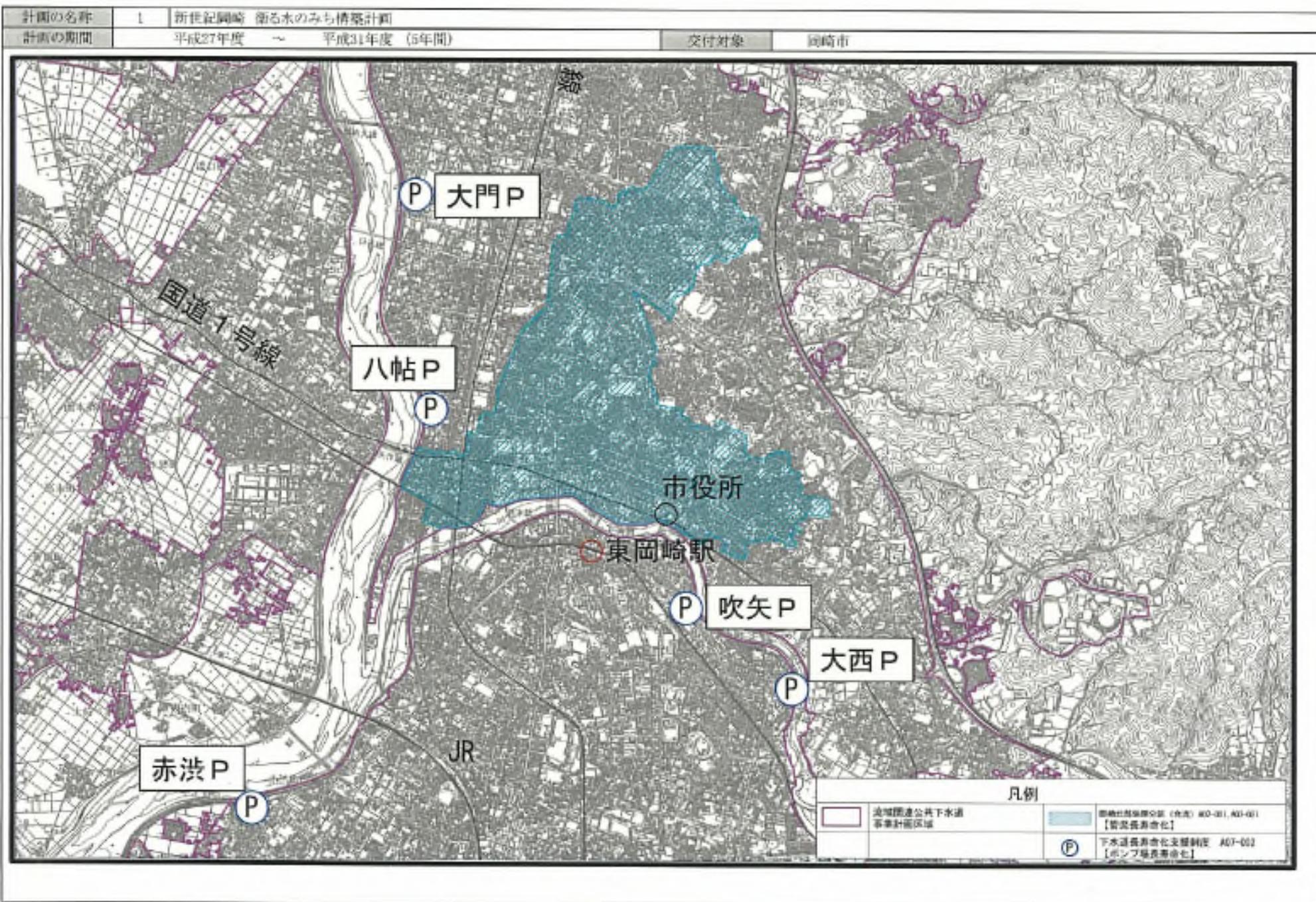
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	特になし			
--	------	--	--	--

3. 特記事項（今後の方針等）

・ 今後は、膨大な既存ストックの適正な維持管理に努めるとともに、計画的な改築を推進し、機能確保と道路陥没等による二次災害の予防・保全に寄与していく。

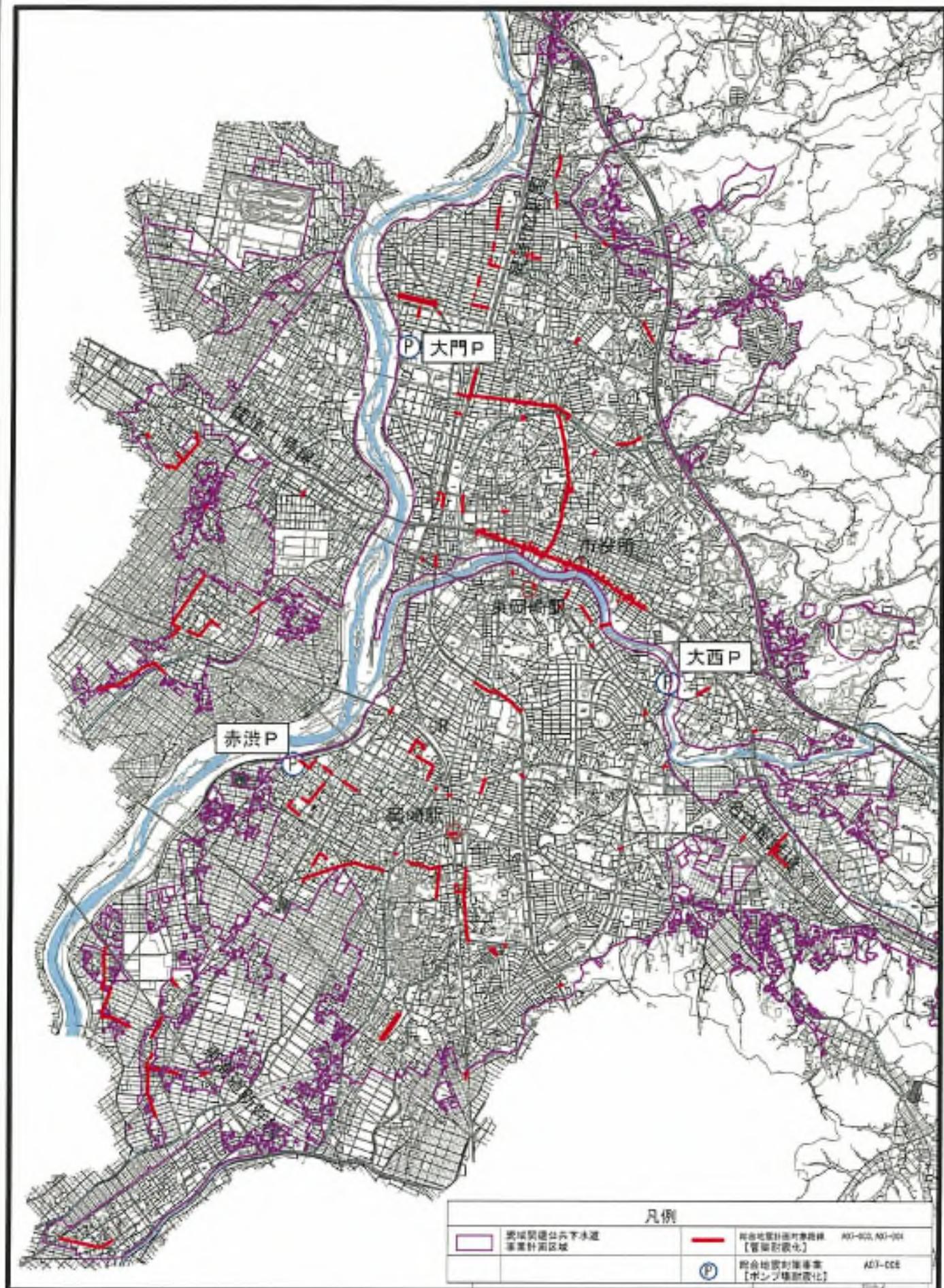
・ 耐震・浸水対策については重点計画に移行し、下水道施設の耐震化を進捗するとともに、浸水被害の軽減を図る。

防災・安全整備



防災・安全整備

計画の名称	L	新世紀同矧 南る水のみち備置計画		
計画の期間	平成27年度	～	平成31年度 (6年間)	交付対象 岡崎市



凡例	
	流域整備公六下水道事業計画区域
	特定地域計画対象路線【管線敷設化】
	総合地域対策事業【ポンプ揚水敷設化】

防災・安全整備

計画の名称	新世紀同崎 循環水のみち構築計画		
計画の期間	平成27年度	～	平成31年度 (5年間)
	交付対象	岡崎市	

